

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成27年11月13日

【四半期会計期間】 第57期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 株式会社ジー・テイスト

【英訳名】 G . t a s t e C o . , L t d

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 杉 本 英 雄

【本店の所在の場所】 仙台市宮城野区榴岡二丁目2番10号
(同所は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)

【電話番号】 0 2 2 (7 6 2) 8 5 4 0

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 稲 角 好 宣

【最寄りの連絡場所】 名古屋市北区黒川本通二丁目46番地

【電話番号】 0 5 2 (9 1 0) 1 7 2 9

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 稲 角 好 宣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第56期 第2四半期 連結累計期間 | 第57期 第2四半期 連結累計期間 | 第56期 |
|------------------------------|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日 | 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日 | 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 13,663,000 | 13,518,504 | 27,982,781 |
| 経常利益 | (千円) | 379,636 | 340,717 | 903,285 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 | (千円) | 316,630 | 284,201 | 627,699 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 316,630 | 284,201 | 627,699 |
| 純資産額 | (千円) | 8,426,492 | 9,931,069 | 9,737,507 |
| 総資産額 | (千円) | 19,121,840 | 19,324,777 | 20,142,911 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | 1.90 | 1.49 | 3.61 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | 1.31 | 1.18 | 2.60 |
| 自己資本比率 | (%) | 44.1 | 51.4 | 48.3 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 465,372 | 310,772 | 1,527,797 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 184,793 | 594,387 | 516,493 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 22,523 | 638,325 | 264,129 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 3,018,969 | 3,113,756 | 4,036,046 |

| 回次 | | 第56期 第2四半期 連結会計期間 | 第57期 第2四半期 連結会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日 | 自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 1.09 | 1.06 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を、「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計連結期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や、金融政策等の効果を背景に、企業業績の改善や、雇用情勢の改善がみられる等、緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなどわが国の景気を下押しするリスクがあり、先行きは依然として不透明な情勢が続いております。

外食産業におきましては、人材不足や、人件費の高騰、また原材料価格の高騰により、依然として厳しい状況が続くことが懸念されております。

このような状況の中、当社グループでは、安心・安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化といたしまして、居酒屋等の事業では通常のメニューとは別に、夏休みメニュー、秋穫祭メニュー等の季節に応じたフェアメニューのご提供や、月替わりのパリュースポットメニューという形で「生しらすとうな丼」、「箱うに丼」、「かつお」の導入を実施し、お客様の満足度向上を目指してまいりました。

海鮮系業態においては、うなぎ、秋刀魚、茄子、秋鮭など常に旬を意識したフェアの開催を実施し、フランチャイズ業態「村さ来」では、“毎年恒例の生ビール祭り”等チェーン全体で業態価値の向上に努めてまいりました。

また、国産牛食べ放題『肉匠坂井』では、安心、安全な国産牛と共に、定期的な季節限定メニューをご提供しておりますが、今後もフランチャイズ展開を含め、店舗数拡大へと努めてまいります。

この他の外食業態においても、季節限定キャンペーンや、季節ごとの旬の野菜、デザートなどの新メニューを常にご提案する等、飽きの来ないお店づくりを心がけてまいりました。

その他教育事業において、学習塾では「夏期講習」の取り組みの強化や、英会話では、「英文法レスキュー119」などで生徒様の上達促進に注力し、顧客満足度の向上を図りました。

当第2四半期連結累計期間においては、2店舗（居酒屋業態1店舗、海外フードコート業態1店舗）の出店と、3校舎をオープンいたしました。その他、不採算店8店舗の閉店と1校舎の閉校となりました結果、外食直営店舗370店舗、教育104校舎となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高135億18百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益3億26百万円（前年同期比16.6%減）、経常利益3億40百万円（前年同期比10.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億84百万円（前年同期比10.2%減）となりました。なお、各段階の利益につきましては、第2四半期連結累計期間の業績予想を上回っております。

なお、外食事業以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報ごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、193億24百万円となり、前連結会計年度末と比較し、8億18百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

負債総額は、93億93百万円となり、前連結会計年度末と比較し、10億11百万円減少いたしました。主な要因は、社債、関係会社短期借入金及びその他流動負債の減少によるものであります。

純資産総額は、99億31百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億93百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ9億22百万円減少し、31億13百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は3億10百万円(前年同期は4億65百万円の資金の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2億96百万円及び減価償却費2億60百万円の計上等に伴う資金増加要因がある一方、未払消費税等の減少等の資金減少要因が発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は5億94百万円(前年同期は1億84百万円の資金の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4億57百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は6億38百万円(前年同期は22百万円の資金の減少)となりました。これは主に関係会社短期借入金の純減2億13百万円、社債の償還による支出1億90百万円及び短期借入金の純減1億円によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 673,477,576 |
| 計 | 673,477,576 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 197,051,738 | 197,051,738 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 197,051,738 | 197,051,738 | | |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成27年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成27年7月1日～ 平成27年9月30日 | | 197,051 | | 100,000 | | 100,000 |

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|------------------|-------------------|---------------|------------------------------------|
| 株式会社ジー・コミュニケーション | 名古屋市北区黒川本通2丁目46 | 77,410 | 39.28 |
| 株式会社神戸物産 | 兵庫県加古郡稲美町中一色883 | 27,851 | 14.13 |
| 沼田 昭二 | 兵庫県加古郡稲美町 | 22,618 | 11.48 |
| ジー・テイスト取引先持株会 | 仙台市宮城野区榴岡2丁目2-10 | 3,219 | 1.63 |
| アリアケジャパン株式会社 | 東京都渋谷区恵比寿南3丁目2-17 | 2,224 | 1.13 |
| 株式会社SBI証券 | 東京都港区六本木1丁目6-1 | 882 | 0.45 |
| 株式会社J・ART | 岐阜県各務原市蘇原東島町4丁目61 | 804 | 0.41 |
| 神林 忠弘 | 新潟県新潟市中央区 | 742 | 0.38 |
| 今野 則夫 | 東京都港区 | 739 | 0.38 |
| 東京アセット株式会社 | 神奈川県三浦郡葉山町堀内292-5 | 666 | 0.34 |
| 計 | | 137,158 | 69.61 |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式5,709千株(2.90%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 5,709,300 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 191,262,100 | 1,912,621 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 80,338 | | |
| 発行済株式総数 | 197,051,738 | | |
| 総株主の議決権 | | 1,912,621 | |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数22個が含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ジー・テイスト | 仙台市宮城野区榴岡二丁目2番10号 | 5,709,300 | | 5,709,300 | 2.90 |
| 計 | | 5,709,300 | | 5,709,300 | 2.90 |

(注) 上記のほか、単元未満株式16株を所有しています。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、なぎさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,036,046 | 3,113,756 |
| 受取手形及び売掛金 | 428,532 | 359,163 |
| 商品及び製品 | 67,668 | 71,724 |
| 仕掛品 | 3,777 | 1,080 |
| 原材料及び貯蔵品 | 207,726 | 216,271 |
| その他 | 972,008 | 948,398 |
| 貸倒引当金 | 11,792 | 8,178 |
| 流動資産合計 | 5,703,968 | 4,702,216 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,662,980 | 3,789,546 |
| 土地 | 4,558,347 | 4,537,007 |
| その他(純額) | 321,614 | 362,243 |
| 有形固定資産合計 | 8,542,942 | 8,688,796 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 127,233 | 112,879 |
| その他 | 171,036 | 170,998 |
| 無形固定資産合計 | 298,270 | 283,877 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 4,404,268 | 4,295,230 |
| その他 | 1,546,123 | 1,704,278 |
| 貸倒引当金 | 352,661 | 349,622 |
| 投資その他の資産合計 | 5,597,729 | 5,649,886 |
| 固定資産合計 | 14,438,942 | 14,622,560 |
| 資産合計 | 20,142,911 | 19,324,777 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 803,994 | 711,596 |
| 短期借入金 | 300,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 380,000 | 380,000 |
| 関係会社短期借入金 | 921,500 | 708,142 |
| 未払法人税等 | 53,223 | 31,049 |
| 引当金 | 61,762 | 40,488 |
| 資産除去債務 | 7,470 | 4,501 |
| その他 | 2,362,325 | 2,047,395 |
| 流動負債合計 | 4,990,275 | 4,223,173 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,520,000 | 1,330,000 |
| 新株予約権付社債 | 1,971,622 | 1,974,485 |
| 長期借入金 | 400,000 | 350,000 |
| 退職給付に係る負債 | 42,864 | 40,808 |
| 資産除去債務 | 830,030 | 837,422 |
| その他 | 650,610 | 637,816 |
| 固定負債合計 | 5,415,128 | 5,170,533 |
| 負債合計 | 10,405,404 | 9,393,707 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 8,842,326 | 8,842,326 |
| 利益剰余金 | 1,611,550 | 1,800,079 |
| 自己株式 | 817,271 | 817,328 |
| 株主資本合計 | 9,736,604 | 9,925,077 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他の包括利益累計額合計 | - | - |
| 新株予約権 | 902 | 5,992 |
| 純資産合計 | 9,737,507 | 9,931,069 |
| 負債純資産合計 | 20,142,911 | 19,324,777 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

| | (単位：千円) | |
|------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
| 売上高 | 13,663,000 | 13,518,504 |
| 売上原価 | 4,838,205 | 4,858,913 |
| 売上総利益 | 8,824,795 | 8,659,591 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,433,528 | 8,333,084 |
| 営業利益 | 391,266 | 326,506 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,930 | 4,635 |
| 受取配当金 | 438 | 465 |
| 業務受託料 | 34,678 | 33,761 |
| 受取補償金 | - | 37,400 |
| その他 | 38,249 | 18,005 |
| 営業外収益合計 | 78,297 | 94,268 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28,058 | 16,250 |
| 支払手数料 | 58,275 | 42,802 |
| その他 | 3,593 | 21,004 |
| 営業外費用合計 | 89,926 | 80,057 |
| 経常利益 | 379,636 | 340,717 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 499 |
| 特別利益合計 | - | 499 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 449 |
| 固定資産除却損 | 15,835 | 15,386 |
| 店舗閉鎖損失 | 1,926 | 20,065 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 940 | - |
| 減損損失 | 32,014 | 8,573 |
| 特別損失合計 | 50,716 | 44,475 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 328,920 | 296,741 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 61,022 | 29,091 |
| 法人税等調整額 | 48,731 | 16,551 |
| 法人税等合計 | 12,290 | 12,540 |
| 四半期純利益 | 316,630 | 284,201 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 316,630 | 284,201 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 316,630 | 284,201 |
| その他の包括利益 | | |
| その他の包括利益合計 | - | - |
| 四半期包括利益 | 316,630 | 284,201 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 316,630 | 284,201 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 328,920 | 296,741 |
| 減価償却費 | 275,851 | 260,737 |
| のれん償却額 | 16,060 | 15,154 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 14,734 | 21,274 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 4,952 | 6,652 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 495 | 2,055 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少) | 7,736 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | 5,368 | 5,101 |
| 店舗閉鎖損失 | 1,926 | 20,065 |
| 減損損失 | 32,014 | 8,573 |
| 支払利息及び社債利息 | 28,058 | 16,250 |
| 固定資産除売却損益(は益) | 15,835 | 15,336 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 56,044 | 92,712 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 4,389 | 9,903 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 224,966 | 92,397 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 56,956 | 198,170 |
| 未収消費税等の増減額(は増加) | 132,159 | 5,959 |
| その他 | 4,365 | 32,864 |
| 小計 | 562,905 | 363,112 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,592 | 2,777 |
| 利息の支払額 | 24,558 | 13,593 |
| 法人税等の支払額 | 75,568 | 41,524 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 465,372 | 310,772 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 200,510 | 457,310 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 35,500 |
| 資産除去債務の履行による支出 | 17,367 | 4,865 |
| 投資有価証券の取得による支出 | - | 10,000 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 51,917 | 27,331 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 85,527 | 55,853 |
| 貸付けによる支出 | - | 71,824 |
| 貸付金の回収による収入 | 4,290 | 4,495 |
| その他 | 4,816 | 118,904 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 184,793 | 594,387 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 関係会社短期借入金の純増減額(は減少) | - | 213,357 |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 25,002 | 100,000 |
| 関係会社長期借入れによる収入 | 1,000,000 | - |
| 関係会社長期借入金の返済による支出 | 58,333 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | - | 50,000 |
| 社債の償還による支出 | 30,000 | 190,000 |
| リース債務の返済による支出 | 6,940 | 3,477 |
| 自己株式の取得による支出 | 819,703 | 57 |
| 新株予約権の発行による収入 | 902 | - |
| 配当金の支払額 | 83,447 | 81,433 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 22,523 | 638,325 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | - | 349 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 258,055 | 922,289 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,760,914 | 4,036,046 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,018,969 | 3,113,756 |

【注記事項】

(会計方針の変更等)

| 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日至平成27年9月30日) | |
|--|--|
| (会計方針の変更) | |
| 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。 | |

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の営業取引について、次のとおり債務保証を行っております。

| 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) | |
|-------------------------|----------|------------------------------|----------|
| (株)ジー・コミュニケーション | 87,385千円 | (株)ジー・コミュニケーション | 77,161千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|----------|---|---|
| 役員報酬 | 53,973千円 | 49,599千円 |
| 給与手当 | 3,415,294千円 | 3,370,382千円 |
| 地代家賃 | 1,601,210千円 | 1,595,147千円 |
| 減価償却費 | 237,326千円 | 223,228千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 40,461千円 | 33,879千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,952千円 | 6,652千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 3,018,969千円 | 3,113,756千円 |
| 現金及び現金同等物 | 3,018,969 | 3,113,756 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成26年2月14日 取締役会 | 普通株式 | 84,183 | 0.5 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月26日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
未日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

(1)当社は、平成26年5月14日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当
第2四半期連結累計期間において自己株式が816,968千円増加し、単元未満株式の買取りによる増加69千円
を含め、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は817,216千円となりました。

(2)当第2四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債について、一部権利行使
があり、資本金142,500千円、資本準備金142,500千円がそれぞれ増加いたしました。これにより、当第2四
半期連結会計期間末の資本金及び資本剰余金の残高は、それぞれ242,500千円、7,699,826千円となりまし
た。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成27年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 95,671 | 0.5 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月26日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
未日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループは、全セグメントに占める外食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは、全セグメントに占める外食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから前連結会計年度末より、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 1円90銭 | 1円49銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 316,630 | 284,201 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 316,630 | 284,201 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 166,315 | 191,342 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 1円31銭 | 1円18銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円) | 4,200 | 1,851 |
| (うち支払利息(税額相当額控除後)(千円)) | (1,498) | () |
| (うち社債発行差金の償却額(税額相当額控除後)(千円)) | (2,702) | (1,851) |
| 普通株式増加数(千株) | 78,666 | 51,372 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | 第3回新株予約権 9,500個 | |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月13日

株式会社ジー・テイスト
取締役会 御中

なぎさ監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山 根 武 夫 印

業務執行社員 公認会計士 真 鍋 慎 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジー・テイストの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジー・テイスト及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。